

P-D-4

漢方由来食品による肝炎予防と肝障害回避の可能性探索実験

Evaluation of Hepatoprotective activity of herbal supplement

○謝 心範¹⁾、山本 理²⁾、原田 雅義³⁾、Francesco Marotta⁴⁾

1) 株式会社協通事業、2) 漢方養生研究所、
3) 医療法人東明会 原田病院、4) University of Milan, Italy

Diabetes, cardiovascular disease, stroke, hyperlipidemia, high blood pressure, obesity, and periodontal disease are representative of the lifestyle-related diseases. Patients of these diseases are taking various kind of medication and sometimes suffer from side effects of the medication. Therefore, we strongly believe the side effects from medication should be included in the lifestyle-related diseases. Since ingestion of foods is one of the important daily activities, we focused on herbal supplementation, YHK, for tackling side effects by medication. Anti-inflammatory/antioxidant hepatocyte protecting role and antimutagenic effects of YHK were confirmed by CCl₄-induced rat hepatitis model.

The present data suggest that YHK is a potential therapeutic intervention in hepatocellular carcinoma prevention strategies.

【目的】

代表的な生活習慣病として糖尿病、心臓病、脳卒中、脂質異常、高血圧、肥満や歯周病などが挙げられているが、近年の高齢化社会の特徴として見られるのは、病気になった結果、治療目的で様々な医薬品を服用することが生活習慣の一部になり、これら医薬品の効果を得ると同時に多くの副作用問題も大きくなってきた。我々はこのような薬剤投与による「副作用」も生活習慣病の重要な問題の一つであると考え注目し、また生活習慣病において食事の管理も重要であることから「漢方養生食品」が薬剤の副作用を予防、改善できるかを検討してきた。今回は医薬品の常用による肝臓への負担に着目し、ラットを使った四塩化炭素惹起肝炎モデルにおける漢方養生食品である「養生片仔こう (YHK)」の効果を検討した。

【方法】

ウイスター系ラットを3群に分けた。①四塩化炭素投与群 (2回/日、皮下)、②四塩化炭素+YHK投与群 (2回/日、皮下)、③四塩化炭素+YHK投与群 (2回/日、皮下、YHKは1週間後から開始)。トランスアミナーゼ量、Y蛋白量、グルタチオン量の変化を観察した。

【結果】

対照群と比較し、A群では肝臓のGSHとGSSGが著しく低下し、トランスアミナーゼの増加とともに肝臓の湿重量も低下した ($p < 0.001$)。一方、B群及びC群ではトランスアミナーゼの軽度の上昇と肝臓壊死炎症値 ($p < 0.05$ vs. A)を示した。A群にはY蛋白とGST活性の30%以上の減少 ($p < 0.01$ vs 対照群)が見られたが「YHK」で正常値に戻った ($p < 0.05$ vs A)。肝細胞培養ではわずか10 g/mLの「YHK」でシリマリン100 μ g/mLと同程度にCCl₄肝細胞損傷を緩和した ($p < 0.05$)。

【結論】

肝臓障害の動物モデルにおいて漢方養生食品であるYHKが肝細胞の保護作用を示したことからヒトに於いても、その肝細胞の保護作用が期待される。